

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公表番号】特表2013-519447(P2013-519447A)
 【公表日】平成25年5月30日(2013.5.30)
 【年通号数】公開・登録公報2013-027
 【出願番号】特願2012-553018(P2012-553018)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 2/08 (2006.01)

A 6 1 F 2/76 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/08

A 6 1 F 2/76

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月12日(2014.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長手解剖学的構造を他の解剖学的構造と再接続するための装置であって、
第 1 の修復装置と、
空洞を有するチューブを含むカテーテルとを含み、
前記第 1 の修復装置は、第 1 の長手端部と第 2 の長手端部とを有する第 1 のフィラメン
トと、前記第 1 の端部に取り付けられる第 1 の針及び前記第 2 の端部に取り付けられる第
2 の針とを少なくとも有する、
 装置。

【請求項 2】

当該装置は、漏斗部材を更に含み、該漏斗部材は、解剖学的通路への入口に隣接した配
置のためのより小さい長手端部と、より大きい長手端部とを有する、請求項 1 に記載の装
置。

【請求項 3】

前記漏斗部材は完全な切頭円錐形の表面を形成せず、前記長手解剖学的構造を横から挿
入するために前記表面に横向き開口部を含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記カテーテルの外径は一端から他端に増大する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

当該装置は、解剖学的通路を通過するための細長い案内部材を更に含み、前記空洞は、
前記拡張カテーテルが前記案内部材の上を摺動し得るよう、前記案内部材を前記空洞を通
じて受け入れるのに十分な大きさ及び形状である、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記カテーテルは、第 1 のカテーテルを含み、該第 1 のカテーテルは、前記第 1 の修復
装置が通過するようにされた中空チューブを含み、且つ第 1 の端部と第 2 の端部とを有し
、該第 2 の端部は、傾斜付けられた端部である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記カテーテルの前記第 2 の傾斜付けられた端部は折り畳まれ得るものである、請求項

6 に記載の装置。

【請求項 8】

当該装置は、ボーンアンカーを含む第 2 の修復装置を更に含み、前記ボーンアンカーは、前記ボーンアンカーを骨に固定的に接続するための遠位端部と、近位端部とを含み、該近位端部は、該近位端部から延びる少なくとも 1 つのフィラメントを有する、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

当該装置は、前記少なくとも 1 つのフィラメントの前記第 2 の針を少なくとも取り囲む鞘を更に含み、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

当該装置は、前記第 1 のフィラメントの各々の少なくとも一部を取り囲む鞘を更に含み、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】

長手解剖学的構造を他の解剖学的構造と再接続するための装置であって、
第 1 の解剖学的構造への取り付けのための第 1 の修復装置と、
第 2 の解剖学的構造への取り付けのための第 2 の修復装置と、
クリンプと、
空洞を有するチューブを含むカテーテルとを含み、
前記第 1 の修復装置は、第 1 の長手端部と第 2 の長手端部とを有する第 1 のフィラメントと、前記第 1 の端部に取り付けられる第 1 の針とを少なくとも有し、
前記第 2 の修復装置は、第 1 の長手端部と第 2 の長手端部とを有する第 1 のフィラメントと、前記第 1 の端部に取り付けられる第 1 の針とを少なくとも有する、
装置。

【請求項 12】

前記第 1 の修復装置は、前記第 2 の長手端部に取り付けられる第 2 の針を有する、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 13】

前記第 2 の修復装置は、前記第 2 の長手端部に取り付けられる第 2 の針を有する、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 14】

前記第 2 の修復装置は、ボーンアンカーであり、該ボーンアンカーは、該ボーンアンカーを骨に固定的に取り付けるための遠位端と、近位端とを有し、該近位端は、該近位端から延びる少なくとも 1 つのフィラメントを有し、針が前記近位端に取り付けられる、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 15】

前記カテーテルの外径は、一端から他端に増大する、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 16】

当該装置は、前記少なくとも 1 つのフィラメントの前記第 2 の針を少なくとも取り囲む鞘を更に含み、請求項 12 に記載の装置。

【請求項 17】

当該装置は、前記第 1 及び第 2 の修復装置の前記フィラメントの各々のフィラメントの少なくとも一部を取り囲む鞘を更に含み、請求項 11 に記載の装置。